

Best Available Copy

PAT-NO: JP402154619A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02154619 A

TITLE: SHIPPING OF PLANT HAVING ROOTS

PUBN-DATE: June 14, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YOSHIDA, TSUNENORI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KK FUKUICHIYA

N/A

KK SUKAI

N/A

APPL-NO: JP63309539

APPL-DATE: December 6, 1988

INT-CL (IPC): A01F025/14, B65D081/22 , B65D081/26 , B65D085/52

ABSTRACT:

PURPOSE: To keep the plants having roots fresh by extending moisture retention mats on the inner bottom of a corrugated cardboard box, wrapping individual roots of plants with water absorption sheets, respectively and packing them upright and shipping the box closed with the lid.

CONSTITUTION: For example, a moisture retention mat 3 of a water-absorption sheet is extended on the inside bottom 2 of a corrugated cardboard box 1. The bundles of vegetables 4 whose roots are wrapped with a moisture absorption sheet 5 and fixed with rubber O-bands 6, respectively and packed in the box upright. The box is closed with lids 7 and shipped to the markets. The corrugate box may have air holes 8, too.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平2-154619

⑬ Int. Cl.⁵ 識別記号 庁内整理番号 ⑭ 公開 平成2年(1990)6月14日
 A 01 F 25/14 7416-2B
 B 65 D 81/22 7191-3E
 81/26 H 7191-3E
 // B 65 D 85/52 7405-3E

審査請求 有 請求項の数 4 (全3頁)

⑮ 発明の名称 根付植物の出荷方法

⑯ 特 願 昭63-309539

⑰ 出 願 昭63(1988)12月6日

⑱ 発 明 者 吉 田 恒 典 福島県福島市郷野目字東1-44 有限会社スカイ内
 ⑲ 出 願 人 株 式 会 社 福 一 屋 福島県福島市飯坂町平野字桜田17番地の1
 ⑲ 出 願 人 有 限 会 社 ス カ イ 福島県福島市郷野目字東1-44
 ⑳ 代 理 人 弁 理 士 大 橋 弘

明 細 書

1. 発明の名称

根付植物の出荷方法

2. 特許請求の範囲

1. 内底に保水性マットを敷いたダンボール函内に、根部を吸水シートで包んだ根付植物を立て詰めし、次にダンボール函の蓋を閉じて行う根付植物の出荷方法。

2. 保水性マットが高分子水分吸収シートであるところの請求項1記載の根付植物の出荷方法。

3. 吸水シートが不織布であるところの請求項1記載の根付植物の出荷方法。

4. ダンボール函に空気孔を設けて成る請求項1記載の根付植物の出荷方法。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、セリ、みつばのような根付野菜及び草花、植木等を含む各種植物の苗の出荷方法に関するものである。

〔従来技術〕

根付野菜及びその他の植物の苗の出荷方法としては、それぞれを小束にまき、これを数束ずつポリ袋に入れてダンボール函詰めを行うか、そのままダンボール函に横詰めして出荷するのが一般的である。

〔従来技術の問題点〕

しかし、上記出荷方法の場合は、鮮度保持に問題が多く、収穫後1～3日位で葉がしおれたり、黄色に変色し、鮮度低下が著しいという問題がある。

本発明は、少なくとも収穫後2週間位は鮮度を保持できる根付野菜及びその他の植物の苗の出荷方法を提案するのが目的である。

〔本発明の構成〕

本発明は、上記目的を達成する手段として、次の如き出荷方法を提案する。

内底に保水性マットを敷いたダンボール函内に、根部を吸水シートで包んだ根付植物を立て詰めし、次にダンボール函の蓋を閉じて行う根付植物の出荷方法。

保水性マットとしては、吸水と保水性に優れ、かつダンボール函側に水分が移動したり蒸発しにくい材質のものが好ましく、この意味では高分子水分吸収マット（シート）が最適である。但し、他の材質のものでもよく、もしダンボール函側に水分の移動が行われ易いときは、ポリエチレン、ビニール、ナイロン等をダンボール函の底に敷き、この上に保水性マットを敷くとよい。

植物の苗の根をくるむ吸水シートは吸水性のあることが条件であり、不織布のようなもので、根を傷めず、滑りにくいものがよい。

吸水シートは、根をくるみ、輪ゴムのようなもので止めておくのがよいが、必ずしも止める必要はない。

〔実施例〕

第1図は本発明出荷方法を根付野菜に適用した場合の説明図にして、ダンボール函1の内底2に高分子水分吸収シートで作られた保水性マット3を敷き、この上に不織布で作られた吸水シート5で根を包み、輪ゴム6で止めた野菜4の束を立て

する。

次に、植物の苗の根を吸水シートで包んだので、ダンボール函内において根が他のものからみつく心配がなく、開函して取り出す際に便利で植物の根を傷めないという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る出荷方法の説明図、第2図はダンボール函詰めした状況の断面図、第3図は吸水シートで根を包んだ野菜の根部の説明図である。

- 1 ... ダンボール函
- 2 ... 内底
- 3 ... 保水性マット
- 4 ... 野菜
- 5 ... 吸水シート
- 6 ... 輪ゴム
- 7 ... 蓋
- 8 ... 空気孔

詰めする。そして、蓋7を閉じ、消費地まで輸送する。この状況は第2図に示されている。

8はダンボール函1に設けた空気孔にして、この空気孔8は、ダンボール函1の通気性がよい場合には必ずしも設ける必要はない。なお、その他の植物の苗の場合も同様にして出荷する。

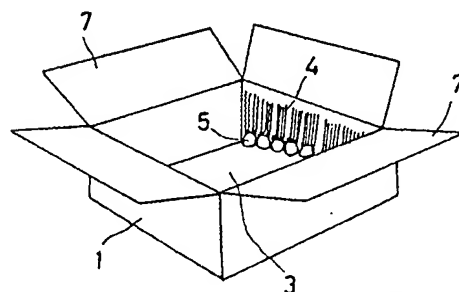
〔本発明の効果〕

本発明は以上のように、ダンボール函内に保水性マットを敷き、この上に吸水シートで根を包んだ植物の苗を立て詰めして出荷するようにしたので、植物は保水性マットから吸水シートを経由して水分を吸収し、ダンボール函内でも生長する。

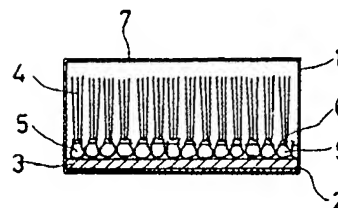
この結果、出荷中においてしおれたり、葉が黄色に変色したりする心配がなく、実験によると収穫後2週間位、このようなダンボール函詰めの状態にしておいても、その鮮度は落ちない。

次に、保水性マットにおいて、高分子水分吸収シートを使用すると、ダンボール函側が濡れて強度低下をきたすことも少なく、又保水が短時間で蒸発しないため、長期間の鮮度保持に効果を発揮

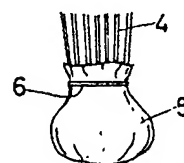
第1図



第2図



第3図



手続補正書(自発)

6. 補正の内容

本件に関し、図面第1図を本書添付のとおり
補正します。

平成1年1月18日

特許庁長官 吉田 文 殿 閣

7. 添付書類の目録

(1) 図面 1通

1. 事件の表示

特願昭63-309539

2. 発明の名称

根付植物の出荷方法

3. 補正をする者

事件との関係 出願人

福島県福島市飯坂町平野字桜田17番地の1

株式会社 福一屋

代表者 安斎 正勝 他1社

4. 代理人 〒113

東京都文京区本駒込5丁目73番2号

セイコービル

(6709) 弁理士 大橋

5. 補正の対象

図面第1図

第1図

